

地方公共団体への支援について 〈橋梁点検・診断実習〉

資料2-3

- 県内の自治体職員の橋梁点検・診断に関する技術力の向上を目的とした「橋梁点検・診断実習」を実施。
- 新しい道路橋定期点検要領に基づき、地方自治体が管理する橋梁を対象に、自治体職員自らが点検及び診断を実習。



自治体管理橋梁で自治体職員自ら点検
(11月4日 新潟県三条市)



自治体職員による点検・診断記録作成演習
(11月4日 新潟県三条市)

【参加者のコメント】

- 今回、近接目視点検を行なった結果、桁端部の損傷や劣化が、意外と進んでいる事を実感したので、非常に参考になった。
- これまでは、橋の損傷原因まで深く考えていなかったが、今回の実習で損傷原因の推定を診断し・記録する重要性について理解できたので良かった。
- 自ら「点検記録」を作成することができ、参考になった。

【参加状況】 ()書きは、参加人数を示す。

【新潟県内】:1県、11市、3町(107名)

●11/4 三条市(栄橋)	:新潟県(2)、三条市(20)、見附市(1)	計 23名
●11/5 燕市(西太田第四橋)	:新潟県(2)、燕市(8)、加茂市(2)	計 12名
●11/11 糸魚川市(濁澄川橋)	:新潟県(2)、糸魚川市(9)	計 11名
●11/13 魚沼市(ふれあい大橋)	:新潟県(2)、魚沼市(4)	計 6名
●11/17 上越市(四斗留橋)	:上越市(15)	計 15名
●11/18 十日町市(城之越橋)	:十日町市(20)、津南町(1)	計 21名
●11/19 新発田市(天辻橋)	:新発田市(3)、出雲崎町(3)、聖籠町(1)、新潟市(2)	計 9名
●11/25 佐渡市(城ノ前橋)	:佐渡市(10)	計 10名
		合計 107名